

今週のお祈り

聖霊降臨後第2主日 (特定5) 特禱

全能の神よ、どうかこの世界がみ
摂理のもとに安らかに治められ、主
の公会がいつも喜びに溢れ、信頼
と穏やかな心をもって、あなたに
仕えることができますように、主イ
エス・キリストによってお願いいた
します。アーメン



日本聖公会 東日本教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外 304

発行日
2026年
6月7日

6月に入りました。そろそろ梅雨の時期ですね、アジサイが色鮮やかに咲いています。今年は教会の藤の花も何年かぶりに花を咲かせました。どんな時も素晴らしい自然を与えてくださる神様に感謝します！



今週の聖書 マタイによる福音書 9:9-13

9 イエスは、そこから進んで行き、マタイと言う人が収税所に座っているのを見て、「私に従いなさい」と言われた。彼は立ち上がってイエスに従った。10 イエスが家で食事の席に着いておら

聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

イエスさまの時代には、自分は正しいと思い、人を厳しく見てしまう大人たちがいました。その人たちは、神さまの決まりを守ることに一生懸命でしたが、失敗した人や弱い人を冷たく仲間外れにしていました。

でもイエスさまは、みんなから嫌われていた人を招き、病気の人を助け、悲しんでいる人を慰めました。イエスさまは、いつも苦しんでいる人のそばに立たれたのです。

私たちが教会でお祈りをしたり、賛美を歌ったりします。それは大切なことです。でも神さまが本当に喜ばれるのは、困っている人に声をかけること。失敗した人を笑わないこと。悲しい人に寄り添うこと。そんな小さなやさしさです。

イエスさまからいただいたやさしさを、お家や学校で出会う人たちに少しずつ分けていきましょう。そうして私たちが、イエスさまの「いつくしみ」を学んでいくのです。

れたときのことである。そこに、徴税人や罪人が大勢来て、イエスや弟子たちと同席していた。11 ファリサイ派の人々はこれを見て、弟子たちに、「なぜ、あなたがたの先生は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と言った。12 イエスはこれを聞いて言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。13 『私が求めるのは慈しみであって、いけにえではない』とはどういう意味か、行って学びなさい。私